

「国際音楽の日」の集い

Piano Concert

高度なテクニック 壮絶なパワー
献身的な愛を傾ける

深見まどか

プログラム
バッハ
トッカータBWV914 ホ短調
プーランク
即興曲15番 エディットピアフを讃えて
コルサコフ/ラフマニノフ
熊蜂の飛行
リゲティ
ムジカ・リチェルカータ(1951)全11曲
ドビュッシー
映像第1集
バラード
エルサン
3つの日本のスケッチ(2011)
リスト
巡礼の年 第2年「イタリア」より
「ダンテを読んで—ソナタ風幻想曲」
※曲目変更の場合がございます。

日時 / 2019年10月27日(日)

12:30開演(12:00開場)

会場 / 茨木市立男女共生センター
ローズWAMワムホール

入場料 / 1,000円(全席自由)

主催 / 関西芸術文化アカデミー(K.G.A.)

後援 / 毎日新聞大阪本社 茨木市国際親善都市協会
(公財)茨木市文化振興財団

チケットの取り扱い(7月27日発売)

(公財)茨木市文化振興財団 ☎072-625-3055 (9:00~17:00)

チケットカウンター(共に9:00~17:00)

- ・クリエイトセンター1階
- ・福祉文化会館3階

10月1日「国際音楽の日」は、1978年、国際音楽評議会で決定され、日本でも、音楽振興法で「国際音楽の日」と制定(1994年)されています。「世界の人々と音楽でつなぐ心の輪」をモットーに、世界平和を念願する実りある記念日にいたしましょう。

profile

深見まどか / ピアノ

京都市生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽学部を経て渡仏。パリ国立高等音楽院修士課程において3つの科(ピアノ、古楽、室内楽)全てを審査員満場一致の首席で卒業。同音楽院学長の推薦を受け、最優秀学生として仏国立学術団体アカデミー・フランセーズ奨学金を受けた。

パリ・エコールノルマル音楽院コンサーティストディプロマ取得。シャンゼリゼ劇場、サルコルトー、サルガヴォー、カーザダムジカ、Flagey、Bozar大ホール、モハメド5世国立劇場などヨーロッパの主要ホールで度々演奏し、その演奏はラジオフランスやベルギー国営ラジオにてヨーロッパ全土に放送されている。

海外国際コンクールにおいて、ロンティボー、ポルト、ブゾーニなど、10個以上の入賞を重ねる。フィガロジャポン紙のパリ特集では若手演奏家を代表して、ジョルジオ・アルマーニ氏らと共に紹介された。その他雑誌ではぶらあぼ、モーストリークラシック、月刊ピアノでも紹介されている。

ソリストとしてはこれまで、ベルギー国立ワロニー管、パリ室内管、芸大フィル、ポルト国立管、フランスパドルー管などのオーケストラと共演。昨年は西本智実指揮・イルミナートフィルハーモニーオーケストラと共演。

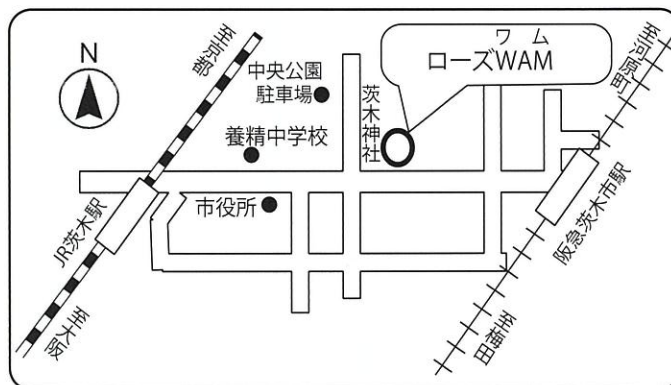
現在はエコールノルマル音楽院やパリ郊外の地方音楽院などで伴奏助手や教員をしながら、日本とヨーロッパ各地で演奏活動をしている。昨年夏よりヤマハピアニストラウンジWebサイトにてコラム「C'est la vie～関西人のパリ音楽漂流記」を連載中。2019年春には、マリア・ジョアン・ピリスらと共にポルトガルで同国のソウザ大統領の前で演奏し、また東京では渾身の企画「ドビュッシーピアノ作品全曲演奏チクルス」(主催:ヤマハミュージックジャパン)を成功させた。

まどかさんは常に真摯に音楽に取り組み、音楽に対して献身的な愛を傾けるピアニスト。膨大なレパートリー、完全な音楽性と安定した高度なテクニック。

— マリア・ジョアン・ピリー

「卓越した技術と音色を併せ持つヴィルトゥオーゾ」「壮絶なパワーと集中力」「傑出したドビュッシー弾き」「不可能を感じさせない技巧と個性」

— 仏ウエストフランス紙、クラシカジャンダ紙などのコンサート評より —



阪急京都線「茨木市」駅下車。西へ約500m。
JR京都線「茨木」駅下車。東へ約800m。

お問合せ先 / K.G.A.事務局 ☎072-626-4954 (法幸)